

はるの若菜荘のあゆみ

～利用者・職員双方に優しい介護を目指して～

社会福祉法人 高春福社会
特別養護老人ホーム はるの若菜荘
発表者：理学療法士 山口 桃子



施設紹介



施設種別：介護老人福祉施設
短期入所生活介護

利用者数：入所者50名
短期入所：10床
1階：16床　2階：44床

平均要介護度：4.2（2022.1.18現在）



スタッフ数

福祉課課長：1名

介護職：18名＋パート：6名

看護師：4名

介護支援専門員：1名

管理栄養士：2名（デイサービス兼務：1名）

機能訓練指導員（理学療法士）：1名

生活相談員：2名

事務職員：5名

施設管理課職員：7名



取り組み経過

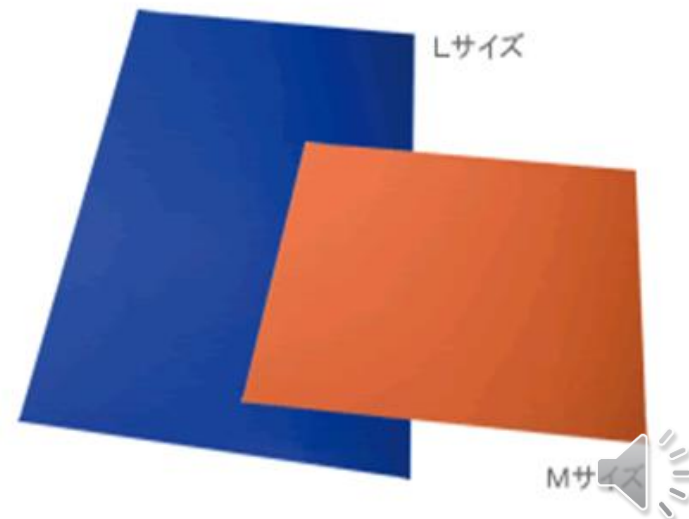
取り組むきっかけ

平成25年10月 日本ノーリフト協会 保田淳子氏が講師を務めた『看護＆介護職の腰痛予防対策～腰痛予防対策とケアの質～』を理学療法士が受講し、研修内でスライディングシートを使用・体験したことがきっかけとなる

平成25年10月にスマイルシート（Lサイズ）を1枚購入し手探りで取り組みを開始した

介助サポートスライディングシート
スマイルシート
Smile sheet
(日本ノーリフト協会推薦)

簡単で使いやすいスマイルシート
体位変換や移動をスムーズにします。



取り組み前は…



推進チームの設立

トップ管理者：施設長

統括マネージャー：介護主任・機能訓練指導員（理学療法士）

推進リーダー：生活相談員・各フロアリーダー・介護職員

健康管理：看護職員

環境整備担当（福祉用具管理者）：各フロアリーダー・機能訓練指導員

個別アセスメント担当：ケアマネージャー・機能訓練指導員・各担当介護職員



環境の改善

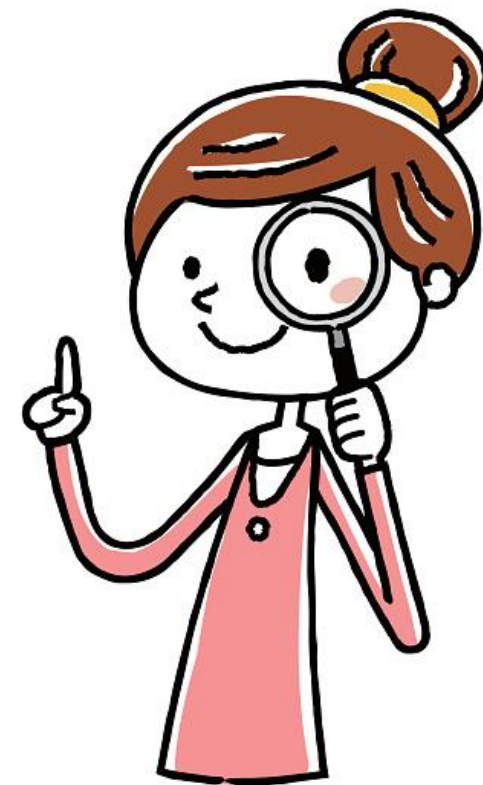


転倒防止
業務の効率化
腰痛予防
などの観点から様々な
環境の改善を行っています





施設内のどこに
福祉用具があるかを
把握するために…



施設内研修の様子

若菜荘機能訓練指導員が主となり
身体の使い方や



介護技術について研修を行う



研修を受けてのテスト



研修終了時には実施した研修についての理解度チェックを実施

理解度が低かった職員には再研修も…



ヒヤリハット報告書

令和3年4月より開始

ノーリフティングケア・リスクマネジメント
委員会にて改善策を検討し改善につなげる

必要に応じて衛生委員会へと改善の要請を行う。

ノーリフティングケア・リスクマネジメント
委員会メンバー：施設長・各事業所の代表者

「今気づいて、働きやすい労働環境をつくる」

NO. _____

ヒヤリハット報告書

働いている職場環境で、このままだと慢性的な行動などで、腰痛や健康を害する問題がで
そうな部分を書き出してください。特に、中腰態勢や不良姿勢が連続に続く場面や環境を想
定して書き出してください。

令和 年 月 日

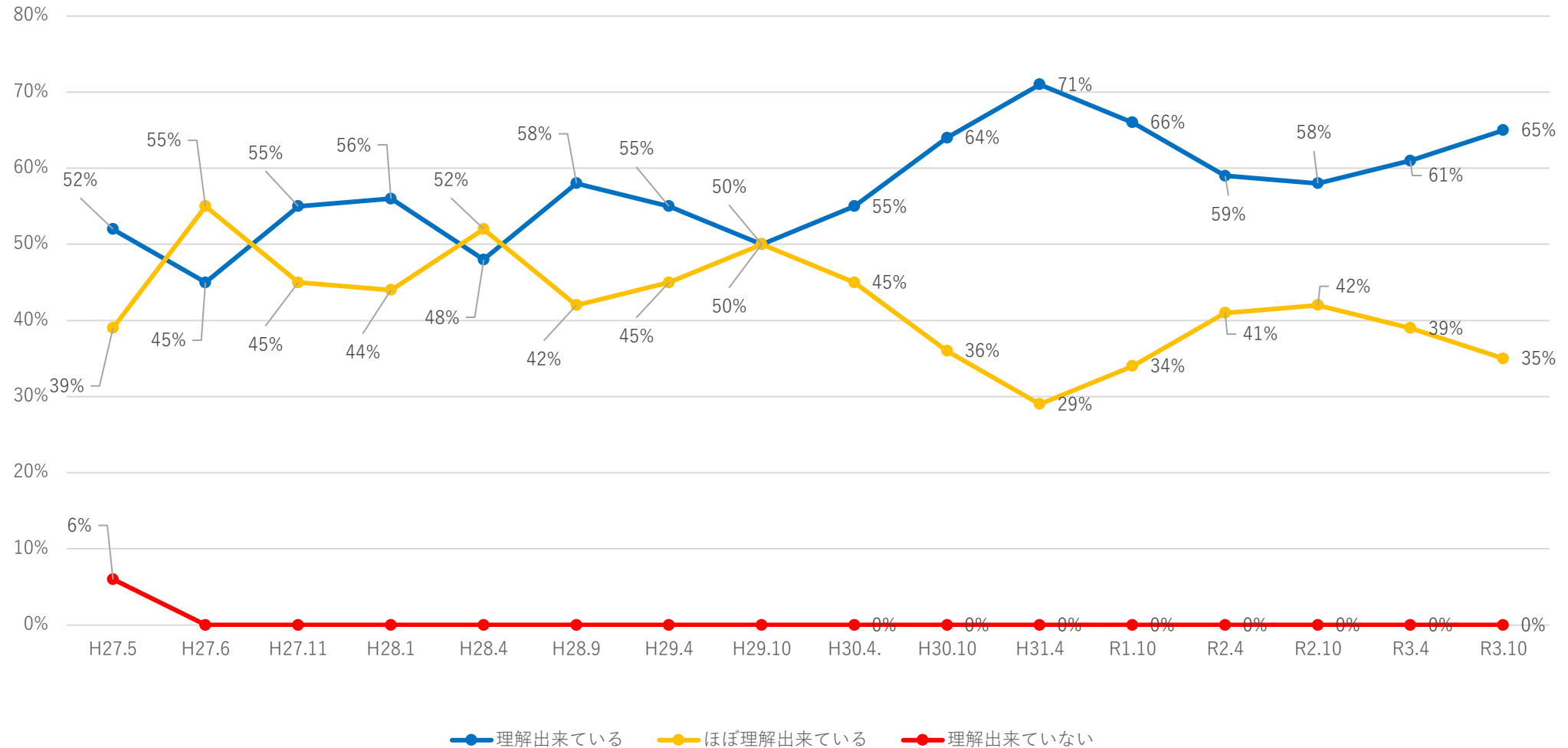
* 先の所属部署に○をしてください。 若菜荘 もろぎ ほのか 居宅

物や設備、環境等	(例) ゴミ箱が低い位置にあり、中腰にならないと入らない。 また、ゴミ箱を取るときに中腰になる。
作業の方法、手順	(例) マニュアルの不足
その他の要因	
提案・要望等 (私はこうする)	
リスクマネジメント委員会 原因分析と対策	令和 年 月 日



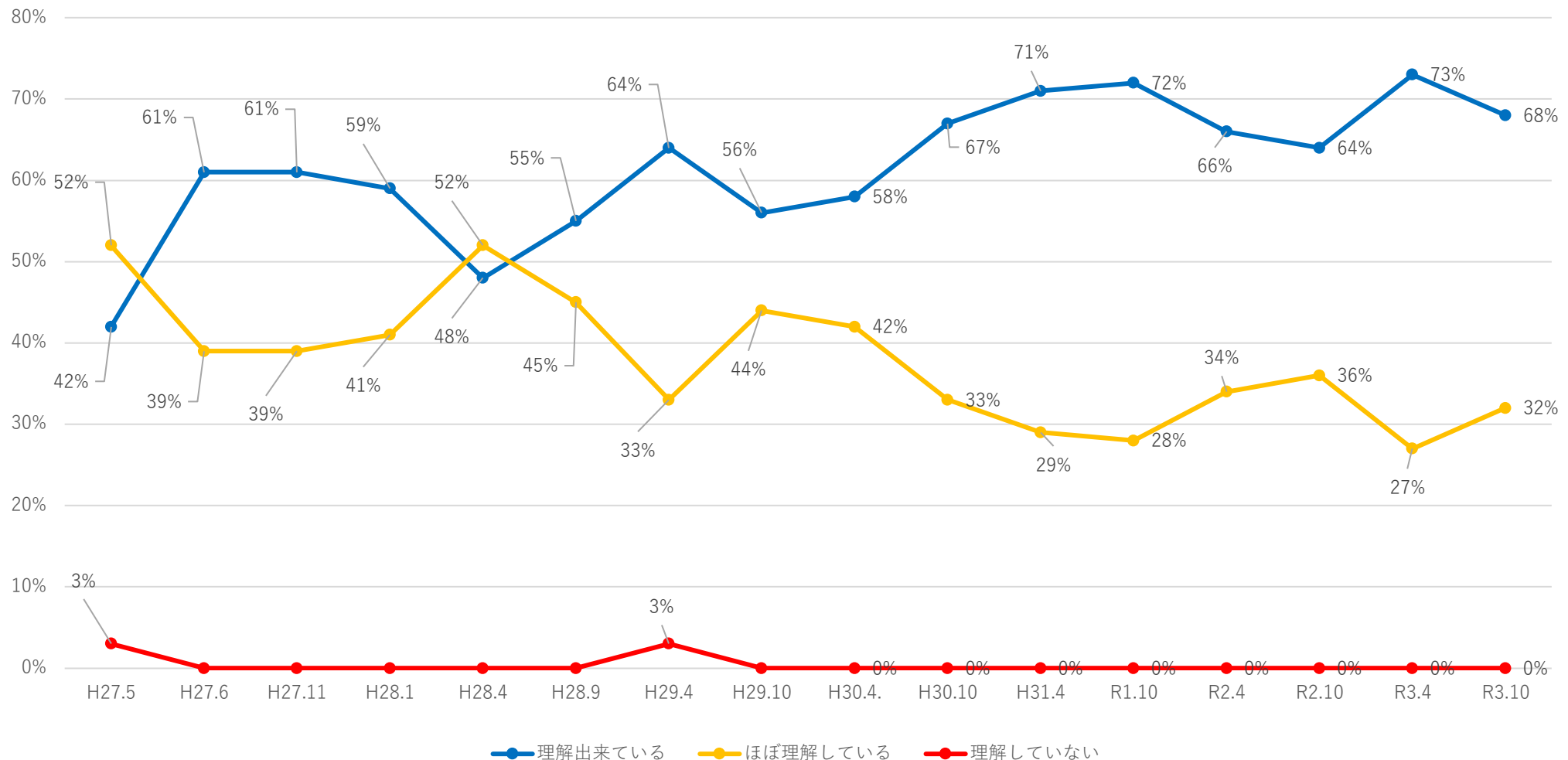
アンケート結果の推移

力任せの介護が利用者の身体的な重度化を
招くことは理解出来ていますか



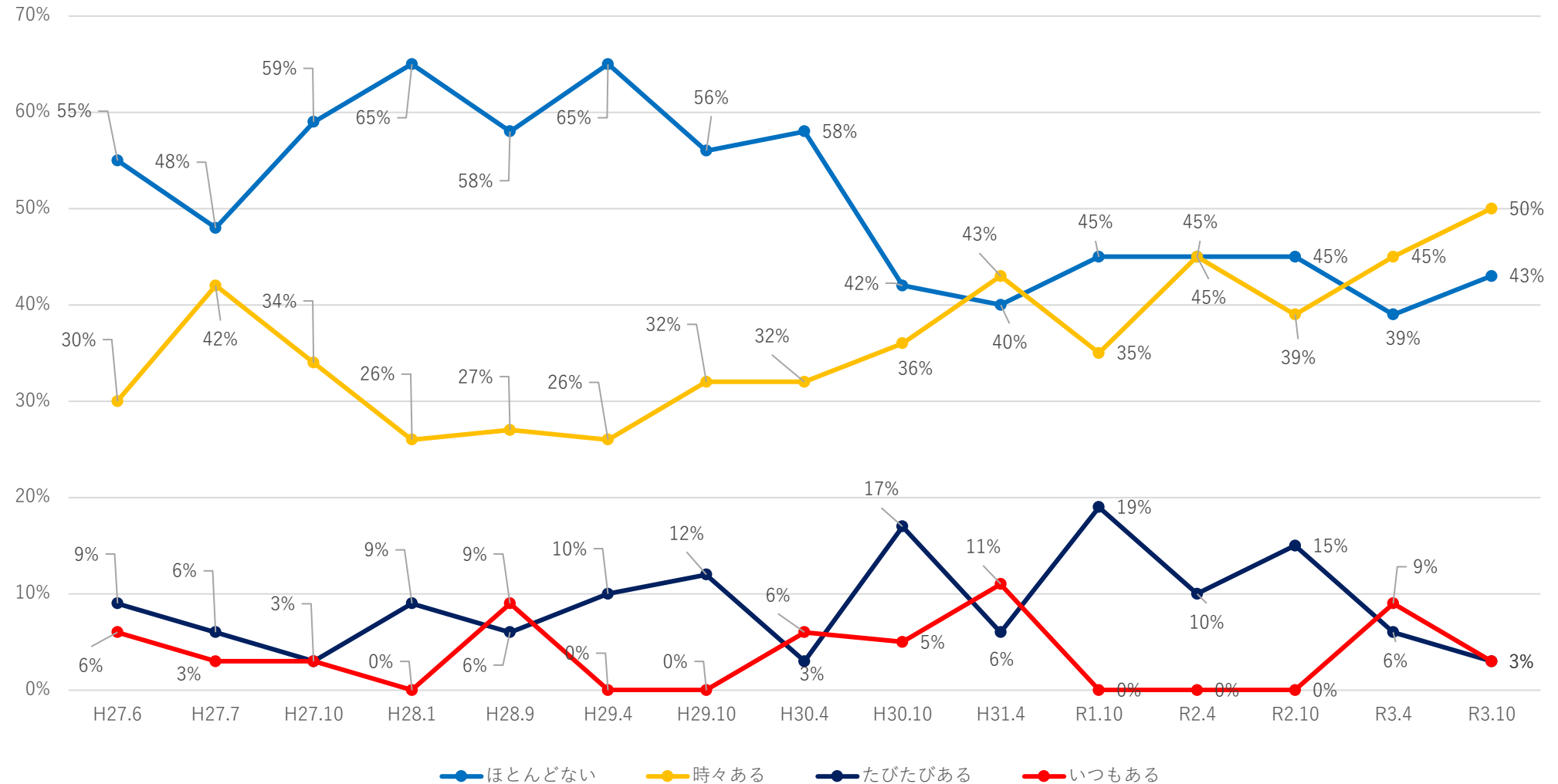
アンケート結果の推移

力任せの介護を行うことで腰痛が引き起こされることを
理解していますか



アンケート結果の推移

腰痛がありますか



アンケートの自由記載から…



内部研修で技術の復習を
定期的にしていけばよい

ノーリフティングケアの
必要性を正しく理解する

従来の介護を変えていく
時間的余裕がない



知識はあるが、個々の事例に
対応できない

時間がかかり面倒だと感じている

介護技術をしっかり理解している者が
新人職員の指導に当たるべき





利用者・職員双方に優しい介護を
実現するために

今後も法人全体で取り組みを
継続していきます。



ありがとうございました



社会福祉法人

高 春 福 祉 会

